

■ 農作物の生育状況と今後の対策等（7月）

令和5年7月14日
三八地域県民局地域農林水産部
農業普及振興室

I 土地利用型作物

1 水稲

(1) 生育の状況

① まっしぐら

管内8地点における生育観測ほの生育は、ほとんど地点で、草丈・茎数・葉数は平年を上回った。生育観測ほの幼穂形成期は、八戸市市川で平年より7日早い7月6日、五戸町根前で平年より2日早い7月8日であった。

② つがるロマン

管内3地点における生育観測ほの生育は、地点でばらつきが見られ、草丈は平年並み、茎数は平年を上回り、葉数は平年より少なかった。田子町田子の生育観測ほの幼穂形成期は平年より1日早い7月11日であった。

表1 6月30日現在 生育観測ほ生育状況（管内平均）

品種	年次	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉数 (枚)	m ² 茎数 (本/m ²)	幼穂形成期 (月日)
まっしぐら (8地点平均)	本年	57.9	24.7	9.4	504	7月6日
	平年	50.3	20.9	8.8	442	7月11日
つがるロマン (3地点平均)	本年	45.3	22.6	8.8	492	(7月11日)*
	平年	44.9	21.5	9.1	461	7月13日

*幼穂形成期の（ ）は予測月日

(2) 今後の対策・指導等

- ①最低気温が17℃以下になると予想される場合には、深水管理を徹底する。
- ②追肥を予定している人は、幼穂形成期以降に葉色がさめたら実施する。
- ③稲こうじ病、いもち病等の適期防除。カメムシ対策として出穂7日前までに水田周囲の草刈りを終える。
- ④農作業履歴を記帳する。

2 小麦

(1) 作業の状況

収穫は7月1日から始まり、7月7日で終了した。

3 大豆

(1) 生育の状況

7月10日調査では、市川、倉石中市とも草丈・茎数は平年を上回っている。倉石中市では、タデ類やヒエ類等の雑草が散見される。

表2 大豆生育調査結果

調査地点	年次	播種日 (月日)	7月10日調査	
			草丈 (cm)	葉数 (葉)
八戸市	本年	5月25日	34.0	5.5
市川	平年*	5月30日	32.8	4.2
五戸町	本年	6月5日	41.7	5.6
倉石中市	平年*	6月10日	29.7	3.5

※平年値は平成25年～令和4年の平均値

(2) 今後の対策・指導等

- ①湿害により生育不良となることから、明きょ等の排水対策を行う。
- ②適期に雑草及び病虫害防除を行う。
- ③中耕・培土を適期に行う。

II 野菜

1 ながいも

(1) 生育の状況（県生育観測ほ）

萌芽揃いは平年より1日早い6月14日、ネット頂上到達日は平年より1日早い7月7日であった。

地下部の生育は、いも長が平年並み、いも重が平年比86%、いも径が平年比93%と平年を下回っている。

病害の発生は見られなかった。害虫は、ナガイモコガの食害が散見される。

表3 ながいも生育観測ほの生育調査結果（7月10日）

年度	定植期					欠株率 (%)	つるの ネット頂 到達日	7月10日現在 (本年調査日:7月10日)		
	植付期 (月日)	種いも の種類	萌芽					いも長 (cm)	いも重 (g)	いも径 (mm)
			始め (月日)	期 (月日)	揃い (月日)					
本年 (平年比)	5/2 -9	頂芽欠	6/10 1	6/12 0	6/14 -1		7/7 -1	16.7 99%	7.3 86%	7.6 93%
平年	5/11	頂芽欠	6/9	6/12	6/15		7/8	16.9	8.5	8.2
前年	5/8	頂芽欠	6/12	6/16	6/18		7/7	14.8	6.0	7.1

- ※栽植様式：畝幅 120cm、株間 22cm (3,787 株/10a)
- ※種子の系統：庄司、使用種子の種類・重さ：2 年子・120～150g
- ※平年値は平成 14 年 ～ 令和 4 年の平均値

(2) 今後の対策・指導等

- ①降雨が多い状況が続いているので、排水対策を徹底する。
- ②1 回目の追肥時期を迎えているので、遅れないよう追肥を実施する。
- ③アブラムシ類、ナガイモコガ、葉渋病、炭疽病の発生に注意し、予防防除に努める。

2 ねぎ

(1) 生育の状況（県生育観測ほ）

草丈は平年比 97%、茎径は平年比 104%と概ね平年並である。収穫は平年並と見込まれる。（平年 7 月 21 日）

病害は、さび病が散見される。虫害は、ハモグリバエ類の食害が散見される。

表 4 ねぎ生育観測ほの生育調査結果（7 月 10 日）

年 度	定 植 期			7月10日現在 (本年調査日：7月10日)	
	品 種 名	は種期	定植期	草丈 (cm)	茎径 (mm)
		(月日)	(月日)		
本 年	夏扇パワー	11/26	3/19	96.7	21.7
(平年比)		-42	-7	97%	104%
平 年	夏扇パワー	1/7	3/26	99.4	20.8
前 年	夏扇パワー	11/26	3/26	100.8	21.0

※平年値は平成 15 年～令和 4 年の平均値

(2) 今後の対策・指導等

- ①降雨が多い状況が続いているので、排水対策を徹底する。
- ②収穫予定日を考慮し最終培土を実施する。また、培土は、高温の時間帯を避け、早朝に実施する。
- ③収穫前日数を確認し、さび病、べと病、ネギハモグリバエ等の病虫害防除を徹底する。

3 にんにく

(1) 生育の状況（県生育観測ほ）

収穫期は平年より7日早い6月20日であった。地下部の生育は、球径が61.5mm（平年比95%）、球重が94.2g（平年比95%）で平年を下回った。

表5 県生育観測ほの収穫期調査結果（調査地点：田子町日ノ沢）

年次	収穫時期 (月日)	茎葉重 (g)	球径 (mm)	生球重 (g)
本年 (平年比)	6月20日 (7日早)	81.6 (89%)	61.5 (95%)	94.2 (95%)
平年	6月27日	91.2	64.6	99.0
前年	6月22日	112.7	72.5	125.7

※種子の系統：「白玉王」、種子のりん片重量：10～12g

※栽植様式：うね幅160cm、株間15cm（16,667株/10a）、緑マルチ

※平年値は平成14年～令和4年の平均値（収穫時期は平成8～令和3年の平均値）
但し、黒マルチを使用した2か年（H21, R2）を除く

(2) 今後の対策・指導等

- ①乾燥時の温度、送風量を適切に管理し、煮え、ムレ等による品質低下に注意する。また、過乾燥にならないように注意する。
- ②乾燥が終了した種子は、出荷品と離して、風通しの良い涼しい場所で保管する。

4 トマト

(1) 生育の状況

生育観測ほの生育は、5段花房の開花が7月1日で、平年より3日早く、現在6段目が開花中である。

収穫は、平年より9日早い7月1日から始まった。

6月第4半旬から7月第1半旬の高温により、3段花房で尻腐れ果、4～5段花房で落花の発生が見られる。

病害は灰色かび病の発生が見られ、虫害の発生は見られていない。

一般ほ場の生育は、概ね順調と見られる。

病害は灰色かび病の発生が見られ、虫害は一部のハウスでアザミウマ類による果実被害が見られる。

表6 生育観測ほの生育状況（7月10日）

年度	定植時			着果状況					
	品種名	定植期 (月日)	育苗・ 活着 状況	1段花房		3段花房		5段花房	
				開花期 (月日)	着果数 (個)	開花期 (月日)	着果数 (個)	開花期 (月日)	着果数 (個)
本年 (平年比)	りんか409 (自根)	5/10 4日早	良好	5/17 10日早	4.3 113%	6/15 2日早	4.0 118%	7/1 3日早	(未定) %
平年	りんか409	5/14		5/27	3.8	6/17	3.4	7/4	2.6
前年	りんか409	5/10	良好	5/24	4.2	6/14	3.8	6/30	2.8

※栽植様式：畦幅 200cm、株間 40cm、条間 60cm、2条（1,960株/10a）、黒マルチ

※平年値は平成20年～令和4年の平均値

(2) 今後の対策・指導等

- ①着果数を1花房3～4果程度に管理するとともに、生育・天候に応じたかん水・追肥を行い、草勢の低下を防ぐ。
- ②日中の暑い時間帯は遮光資材でハウスを覆う。
- ③病害虫の発生に留意し、初期防除に努める。

5 農作業事故防止

農業機械の操作を行う際は、周囲の安全確認や、ヘルメット着用などの事故予防対策に留意する。また、思わぬトラブルが発生した場合には、まずエンジンを停止させる。

6 農薬適正指導

農薬を使用する場合は、必ず最新の農薬登録内容を確認する。

農薬は、周辺作物に飛散しないよう適正に使用し、使用後は、栽培日誌、GAPチェックリストに忘れずに記帳し、出荷前の確認を徹底する。